

# スーパーDXポール

① 目次

② 概要と詳細

③ 組立説明書



アルミ軽合金製

## ② 概要と詳細

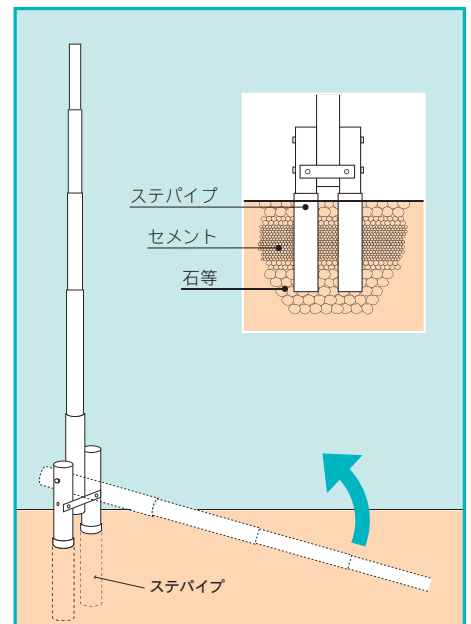
# スーパーDXポール

シンプル設計なスタンダードポール。ポールも立てやすく超強力。



**ステパイプ方式** 地中に埋め込んだステパイプは平地として利用でき、再度利用する時も便利です。

**補助ロープ不要** ポールが倒れないように固定する補助ロープがなくても安全な設計になっています。これにより補助ロープに鯉のぼりがからみやすかった点を解消できました。



### ■スーパーDXポール/鯉のぼり・節句幟用

サイズ	鯉のぼりサイズ	ポール継ぎ数 (アダプター込み)	ポール先端		ポール末端		ステパイプ 全長	重量
			外径	内径	外径	内径		
12号(11.8m)	6 m鯉用	7 本継	49.6mm	44.6mm	88.3mm	82.5mm	850mm	35kg
10号(10m)	5 m鯉用	6 本継			81.8mm	77.2mm	850mm	30.5kg
8号(8.3m)	4 m鯉用	5 本継			76.5mm	72.3mm	850mm	27.8kg

●箱は2箱で1組です。

# スーパーDXポール

## 表面

### 1. 設置場所を決める

#### 鯉のぼりの場合 (空間部分)

鯉のぼりが空中で泳いだ時に電線や植木、建物などに接触しない場所を選んで下さい。  
<5mの鯉のぼりの場合>

ポールを中心として半径5m+約1m=約6m以上空間が確保できる所。  
鯉のぼりが風を受けて泳ぐときに、ロープも幾らか引かれますので、  
鯉のぼり全長より長く距離を確保して下さい。

#### 幟旗の場合 (空間部分)

ポールを中心として半径約2m以上の空間が確保できる所。

#### 鯉のぼり、幟旗共通 (地上部分)

4-③に描いてあるイラストのように、ポール本体を杭に接合して引き起こす作業があります。  
この作業が出来る障害物がない場所を確保して下さい。  
ポール本体を起す作業、倒す作業の時に支障のない場所を決め、杭を設置する場所、方向を  
選定して下さい。

### 2-1. 道具を用意する (鯉のぼり用、幟旗用共通です。)

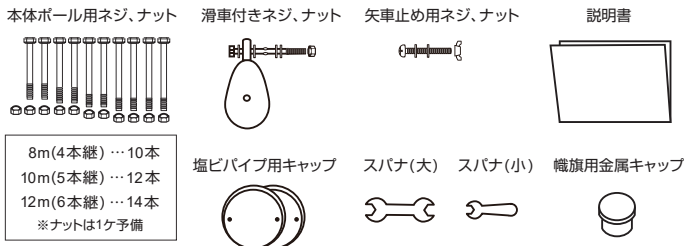
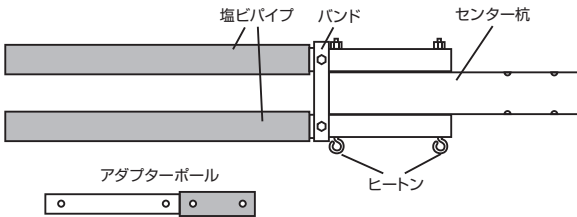


### 2-2. セット内容を確認する

#### 本体ポール

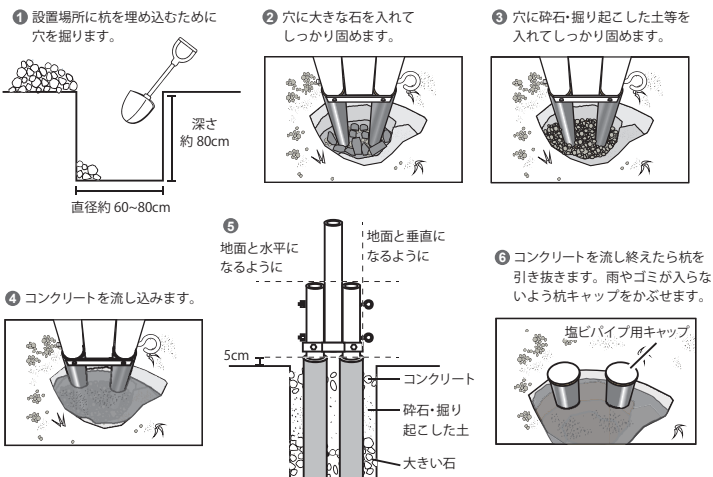


8m(4本継)、10m(5本継)、12m(6本継)



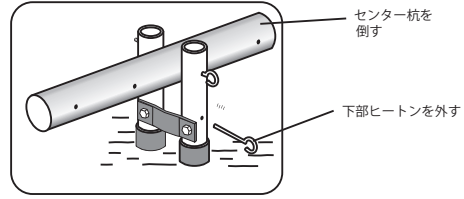
### 3. 基礎工事をやる (鯉のぼり用、幟旗用共通です。)

設置場所に杭を埋め込むために穴を掘ります。  
深さ約80cm、直径約60cm~80cmくらいの穴を掘ります。(杭に付いている塩ビパイプを下图のように埋め込みますが、約5cm塩ビパイプ先端が地上に出るように穴の深さを調整して掘って下さい。)  
次にコンクリートの練り合わせをします。穴の大きさによって用意するコンクリートの量が変わりますが、  
大きめの石や砕石等をたくさん用意しておく、セメント1袋(20kg)で基礎工事ができます。  
コンクリートが固まるのを待ち、ポールの組立、設置作業に移ります。

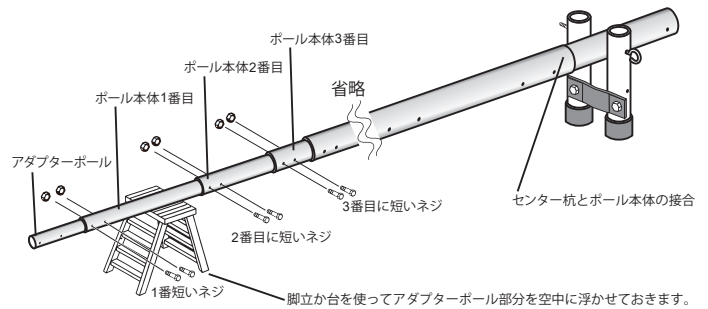


### 4. ポールの組立とセンター杭との接合 (鯉のぼり用、幟旗用共通です。)

- ①各サイズのポールを先端から引き伸ばし、ネジ穴を合わせそれぞれのネジをスパナ、モンキーレンチ等でしっかりと固定しています。(アダプターポールの取付も行います。)
- ②杭部分でセンター杭と結合している2本のヒートンのうち、下部のヒートンを外し、センター杭を倒します。(外したヒートンは後でポールを立てて、固定する時に使います。)

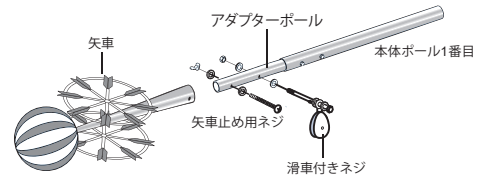


- ③ポールの最下部とセンター杭をネジ、ナットで固定します。  
脚立か台を用意し、下图のようにポール前部分を載せてアダプターポール部分を浮かせるようにします。



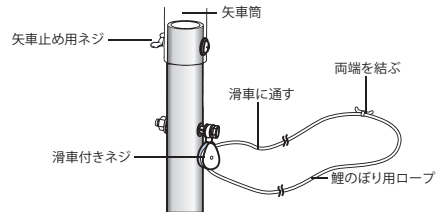
### 5-1. 滑車付ネジ、矢車の取付 (鯉のぼり用の場合)

下图を参考にアダプターポールに滑車付ネジ、矢車を取り付けます。  
矢車の取付には6mmのネジを使用します。



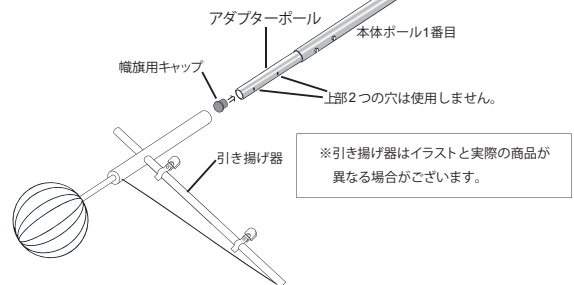
### 5-2. 鯉のぼり用ロープの取付 (鯉のぼり用の場合)

下图を参考に滑車にロープを通して両先端をしっかりと結びます。



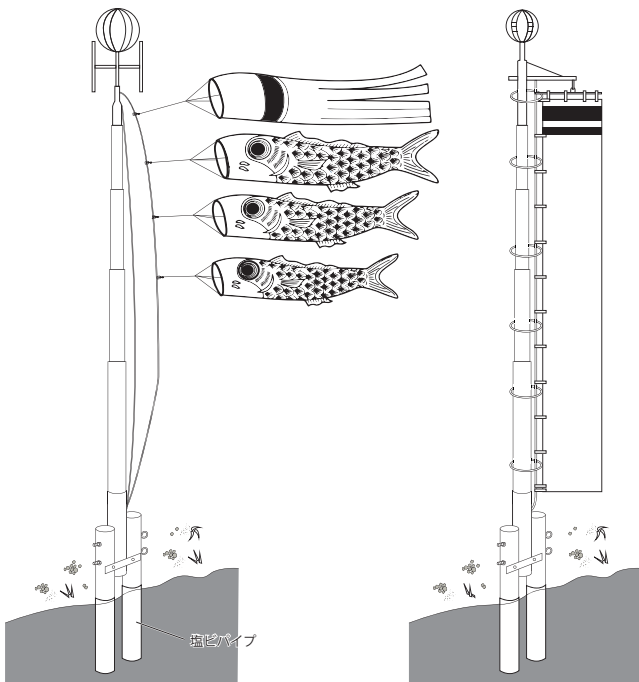
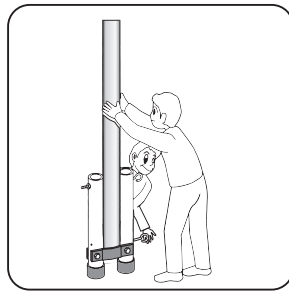
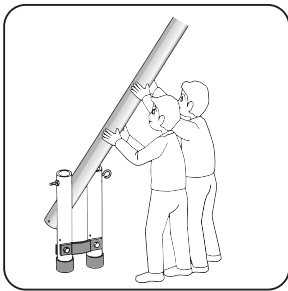
### 6. 引き揚げ器の取付 (幟旗用の場合)

- ①アダプターポールの先端に幟旗用金属キャップを被せます。
- ②引き揚げ器の商品説明書をご覧ください、ポールと接合させて下さい。



## 7. ポールを立てる

- ポールを引き起こします。  
下図を参考に8m、10mポールの場合成人男性2人以上、12mポールの場合は3人以上で作業して下さい。作業中に杭が抜ける場合がありますので、杭をしっかりを押さえて下さい。手や指を挟んでケガをしないように十分注意して下さい。ポールを上げる時、方が一途中で倒してしまうと危険です。下記に事柄にご留意下さい。
  - 引き起こす人以外はポールから遠くに離れて下さい。
  - 特にお子様がいらっしゃる場合は、近づかないようしっかりご配慮下さい。
  - 引き起こす最中に足が滑ると大変危険です。運動靴等、滑りにくい靴を履いて作業して下さい。
  - 事前に足場が滑らないかよくご確認下さい。
  - 雨や強風の場合は作業を控えて下さい。
- 地面に対し垂直になったらポールをしっかり支え、1人は4-②で抜き取った下部のヒートンを下図のように杭とポール本体に通し、奥まで差し込んでナットで止めます。
- 最後にバンド部分やヒートンのネジがしっかり締まっているか確認下さい。



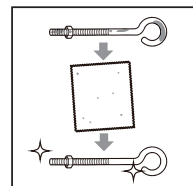
これでポールの設置は完了です。  
次に鯉のぼりや幟旗をロープに付ける作業に移ります。

**鯉のぼりの場合** 鯉のぼりに付いている口金具を、ロープに取り付けて下さい。  
(口金具の説明書を参考にロープに取り付けて下さい。)

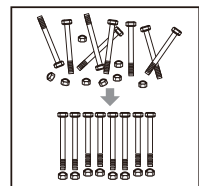
**幟旗の場合** 幟旗を引き揚げ器に取り付ける作業を行って下さい。  
(引き揚げ器の商品説明に従って取り付けして下さい。)

## 8. ポールを降ろす

- 脚立もしくは台と、スバナやモンキーレンチ、手袋(滑り止め付)をご用意下さい。
- ポールを立てる時と同様に、8m、10mポールの場合は成人男性2人以上、12mポールの場合は、成人男性3人以上で作業して下さい。作業中に杭が抜ける場合がありますので、杭をしっかりを押さえて下さい。手や指をはさんでケガをしないように十分注意して下さい。
- 1人もしくは2人でポール本体をしっかり支え、別の1人が下部のヒートンのネジを外して抜きます。
- ゆっくりとポールを倒していきます。この時矢車や引き揚げ器が直接地面に触れないよう、ポール先端あたりに脚立もしくは台を置いてその上に倒します。
- 矢車もしくは引き揚げ器を外した後、センター杭とポールを外していき、ポールに汚れがあればふき取ってからポールを縮めて下さい。
- 杭部分を塩ビパイプから抜き取って下さい。
- 塩ビパイプは、付属の塩ビキャップで蓋をしてください。  
(塩ビパイプの穴が、翌年、再び杭を設置する際に、土で埋まらないようにするためのものです。)



乾いた布などで汚れを落とす



部品はまとめて保管する

## 安全上の注意

### ⚠ 危険

アルミ製ですので、電線に触れる恐れのある場所には、絶対に設置しないで下さい。(感電する恐れがあります。)

- 鯉のぼりや幟旗を揚げた時、電線や植木、建物に触れないように充分気を付けて下さい。
- 雨天時や強風時(風力4以上)にはポールが変形したりする事がありますので鯉のぼりや幟旗を降ろして下さい。(下図風力の目安)

風力3	4	5	6
風速 3.4 ~ 5.4	5.5 ~ 7.9	8.0 ~ 10.7	10.8 ~ 13.8
木の葉や小枝が絶えず動き旗などがひらめく	ほこりがたち、紙くすなどが舞う	葉のあるかん木がゆれ、池の水面に波が立つ	大木が動き電線が鳴る

### ⚠ 警告

- 強風時や雨天の場合、設置及び解体は行わないで下さい。
- 乳幼児がそばにいる時は、設置及び解体は行わないで下さい。
- スコップ、金属板、ボルトナットなどを使用しますので、必ず手袋を着用して設置及び解体を行って下さい。

### ⚠ 注意

- 本体ポールに強い衝撃を与えないで下さい。
- 湿気のある所や潮風の当たる場所には保管しないで下さい。
- 汚れの付いたまま保管しないで下さい。
- 使用状況また、保管の状況によって、ポール本体や杭が劣化する可能性があります。保管後、新たにご使用される前に、材質表面に劣化症状がないかご確認の上、ご使用下さい。
  - ・アルミニウムポール本体：穴やヒビ
  - ・鉄材(杭など)：錆などの腐食

### ⚠ 使用上のご注意

- ・小さい部品がありますので、作業中はお子様にご注意下さい。
- ・部品落下防止の為、ネジや割ピン部分などはしっかりと工具などを使い固定して下さい。
- ・説明書は組立て終了後も、紛失しないように保管して下さい。
- ・シーズン終了後は、必ず矢車、引き揚げ器を降ろして下さい。
- ・使用後は汚れを落とし、乾いた布などで良く拭き、可動部分には注油して湿気の少ない所に保管して下さい。
- ・本製品は消耗品であり、使用・保管状態により、変色・腐食する場合があります。翌年、組立てる前に必ず腐食状態をご確認下さい。
- ・部品を紛失、破損等した時は右記へお知らせ下さい。実費と送料でお送り致します。



株式会社 中 須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32  
TEL : 06-6656-0222  
FAX : 06-6656-0300